

Code Pink
10 July 2023
<https://www.codepink.org/ukrainecluster>

クラスター爆弾をウクライナに送るな Stop Biden from Sending Cluster Bombs to Ukraine

By: Medea Benjamin and Marcy Winograd

バイデン大統領は、禁止されているクラスター弾を派遣すると発表した。ウクライナのロシア軍に対する反攻作戦の遅れをとりもどすためだ。おそらくそれはレッドラインを踏み越えたものとなるだろう。

7日、議会進歩議員連盟のプラミラ・ジャヤパル議長（民主党、ワシントン7区）を筆頭に、19人の下院民主党議員がバイデン大統領への書簡に署名した。

書面はこう書かれていた。

我々は警告する。クラスター弾をウクライナに送るというあなたの決定は、“我々の道徳的リーダーシップを著しく損なうものである”と。



議会リベラルの動き “それは完全に一線を越えている”

今回、バイデンの凶暴化に恐怖を感じているのは、コードピンクや「ウクライナに平和を連合」(ウ平連)の左派活動家だけではない。その多くはウク

ライナへの軍事支出 1000 億ドルを承認してきた民主党議員たちだ。その半分は、説明責任のない武器や軍事援助に使われたと推定される。

下院国防予算小委員会の委員長であるベティ・マッコラム議員（民主党、ミネソタ州選出）は、ポリティコに対し次のように語った：

クラスター弾をウクライナに送るというバイデン政権の決定はとんでもない間違いだ。...クラスター爆弾の結末は、悲惨な死と、使用後何世代にもわたる高価な後始末である

9日には、他の著名な民主党議員がテレビに出演した。元副大統領候補のティム・ケイン上院議員である。彼は Fox News にこう語った。

大統領の決定については大いに疑問がある

バーバラ・リー下院議員（民主党、カリフォルニア州 13 区）は、下院歳出小委員会の対外活動担当委員長であり、上院議員候補でもある。彼女は断言した。

クラスター爆弾は決して使用されるべきではない。それは完全に一線を越えている

ジェフ・バークレー上院議員（民主党）とパトリック・レイヒー元上院議員（バーモント州）は、アメリカ撤退後にベトナムを訪れた経験を持つ。彼らも大合唱に加わった。

彼らはワシントン・ポスト紙の論説で、目の当たりにした事実を証言し、こう結論した。

クラスター爆弾などの兵器が、民間人に与えた影響は、明らか壊滅的かつ長期的だ

すでにホワイトハウスによるクラスター爆弾の公式発表の前から、下院民主党のサラ・ジェイコブス（民主党、サンディエゴ）とイラン・オマル（民主党、メリーランド州）は、クラスター爆弾の輸出特許状発行を禁止する修正案を 2024 年の軍事予算に提出していた。

下院規則委員会の上位委員であるジム・マクガバン下院議員（民主党）は、この輸出禁止法案を最初に共同提案した一人である。マクガバン下院議員はニューヨーク・タイムズ紙に対しこう語った。

クラスター弾は何百という爆弾の粒をばらまく。その多くは紛争が終わった後、長い年月を経てからトラブルを発生する

しかし、この修正案が可決されるには、超党派の圧倒的な支持が必要であり、法案が可決された場合には法律を遵守する大統領が存在しなくてはならない。

NATO 主要加盟国をせせら笑ったバイデン

バイデンはクラスター爆弾に賛成したことで、NATOの18のパートナーを鼻でせせら笑ったことになる。彼らは2008年の国連クラスター爆弾禁止条約に他の100以上の締約国とともに署名した。

今週、リトアニアのビリニウスで開かれたNATO首脳会議のとき、英国、カナダ、ニュージーランド、スペインの代表はクラスター爆弾供与に賛成しなかったと『ニューズウィーク』誌は報じた。

特例を用いて法律をジャンプ

バイデンはまた、クラスター弾の使用を、不発率が1%未満のものだけに制限する現行の米国法をジャンプした。国防総省の最終試算では、「不発率」は6%であった。

バイデンは、上院軍事委員会のアラバマ州選出トム・コットンのようなタカ派共和党議員に頭を下げつつ、クラスター弾の使用を禁止する法律の例外規定を持ち出した。「重要な国家安全保障事項」の際にクラスター弾の出荷を認める条項である。

ウクライナ東部のドンバス地方をロシア軍とウクライナ軍のどちらが支配しているかは、米国の国家安全保障上の関心事とは言い難い。

それはたとえば、気候変動による大災害の脅威を和らげたり、水道管が詰まった人々にきれいな水を提供したり、高速道路の高架下に住む身寄りのない人々のための公共住宅に出資したりするのと同レベルだ。

それにもかかわらず、1年前に核ハルマゲドンの危険性を警告したバイデン大統領は、またもや核兵器の危険性を強調した。

1年前、バイデンはまず「ノー」と言い、次に多くの兵器について手のひらを返した。スティンガーミサイル、HIMARS ロケットランチャー、先進ミサイル防衛システム、M1エイブラムス戦車、F16戦闘機...

これらこれら大量破壊兵器のひとつひとつが、プーチンの「レッドライン」を試すロシアンルーレットのようなものだった。

バイデンは核のレッドラインを越えてしまうのではないか

バイデンがクラスター爆弾をウクライナに送るという最新の決断を下したことで、反核活動家たちは、大統領も核のレッドラインを越えてしまうのではないかと懸念している。

バイデンこそ「核態勢見直し」(Nuclear Posture Review)で「先制使用」(first use)を容認した大統領だからだ。

不発弾はずっとウクライナの市民を殺傷し続ける

2008年の画期的な国連クラスター爆弾禁止条約のきっかけは、まさに1960年代から1970年代にかけて、米国が東南アジアで無差別にこの兵器を使用したことにある。

ラオスでは、米軍は約3億発の爆弾で国土を埋め尽くしたが、その多くはすぐには爆発せず、その後、米国が東南アジアから撤退した後、誤ってクラスター爆弾を踏んだり、おもちゃだと思って光り輝く玉を拾ったりした大人や子どもたちを傷つけた。

ウクライナとロシアはすでにウクライナでクラスター爆弾を使用しており、その結果、民間人が死亡したり重傷を負ったりしたことを記録している人権団体から非難されている。

バイデンが送ろうとしている数十万発の弾丸は、これらの禁止された兵器の使用を大幅に増やすことになる。

クラスター爆弾を送るというバイデンの恐ろしい決断は、ウクライナ南部と東部でのウクライナの反攻が失敗していることに直面した絶望の表れと見ることができる。

バイデンはCNNに対し、「難しい決断」だったが、ウクライナは「弾薬を使い果たしている」と語った。

真実はこうだ。

この新たな無差別兵器を追加しても、「軍事的勝利」を達成するために膠着状態を奇跡的に打破できるわけではない。

一方、不発弾はいずれウクライナの市民を殺傷する。そのことは今後何年も保証される。

同時に追い詰められた他の国々がクラスター弾禁止条約違反を促すことになる。これが真実だ。

来週あたり、議会が9200億ドルの軍事予算に取り組む中で、ジェイコブズとオマールのNDAA修正案が下院で検討されるかもしれない。

今こそ、有権者がCODEPINKのアクションアラートをクリックし、下院議員にクラスター弾の輸出許可を禁止する修正案の共同スポンサーを要請する重要な時である。

懐疑的な人々は、バイデンが戦争を行う権限を制限する法律を尊重するかどうか疑問に思うかもしれないが、大きな声で力強く反対することだけが、私たちの運命をコントロールする政治的レバーを引くことができる。

バイデン政権は、核戦争の危険を冒して軍拡競争をエスカレートさせるのではなく、停戦と前提条件なしの交渉を推進すべきである。国際法を破る代わりに、米国は紛争の外交的解決を求める世界的な声に加わることで、軍事的膠着状態を打破すべきである。

Medea Benjamin is cofounder of CODEPINK for Peace, and author of several books, including *Peace in Ukraine: Making Sense of a Senseless Conflict*.

Marcy Winograd serves as the Co-Chair of the Peace in Ukraine Coalition and Coordinator of CODEPINK Congress.